



PUBLIC RELATIONS KAMIKOANI

広報

# かみこあに

4月号  
No.735



上小阿仁村PRキャラクター  
こあぴょん

## かみこあに保育園卒園式

(関連2~3ページ)

### 主な内容

- 4 ~ 5 P 令和2年度施政方針
- 6 ~ 7 P 行政報告要旨
- 8 ~ 9 P 令和2年度予算公表
- 10 ~ 11 P 役場職員の配置について

# 卒業証書授与式



## かみこあに保育園卒園式

3月14日、かみこあに保育園の卒園式が行われました。

男子4人、女子4人の卒園児は保護者や在園児が待つ、ゆうぎ室へ拍手に包まれながら入場しました。原田園長から卒園証書が手渡されるとステージ上で将来の夢を元気いっぱいに発表しました。

原田園長から「ゆり組さんご卒園おめでとうございます。今年は例年より雪が少なかつたために雪解けが早く、暖かな日差しに春を感じる季節になっています。

先ほどの卒園証書を渡した時の元気な返事、立派な姿勢にとてもかっこ

## 上小阿仁小学校卒業式

3月13日、上小阿仁小学校の卒業証書授与式が行われ男子4人、女子4人が6年間の小学校生活を終えました。

学生服とセーラー服に身を包み、堂々と入場した卒業生たちは、吉田校長から卒業証書を受け取りました。吉田校長は「制服に身を包んでいる皆さんを見ていて胸が熱くなりました。6年間で精神的にも体力的にもたくましく成長した皆さんを無事に卒業させることができ本当にうれしく思います。最上級生としてのこの1年間は昨

年度とは違った成長を感じました。様々な活動の場面で上小阿仁小学校のリーダーとして役割を果たしました。

これらの経験で自分たちに対する誇りと自信を持つっていました。そのことを見ていてなによりも驚きであり、喜びでもありました。下級生はしつかりとあなたのたちの行動を見て、お手本にしていました。

あなたたち8人が築いてくれた伝統を大事にし、5年生を中心とした異なる上小阿仁小学校にすることを約束します。

こいいなと思つてみておりました。皆さんがかみこあに保育園になつて14回目の卒園生です。ふたば組の小さかつた時からこんなに大きく立派に成長しました。一人ひとりの力量を大事にしながら目標に向かって頑張つてほしいなと思います。様々に挑戦して頑張つてください」と式辞を述べると卒園児たちは大きな声で「はい！」と返事をしました。

高橋教育長から手渡された真新しいランドセルと黄色い帽子を身に着けて、小学校への期待に胸を高鳴らせながら卒園しました。



皆さんはこの学び舎で6年間学校生活を送ったことを忘れず、新たな気持ちで中学生の一歩を踏み出したいと思います。

中学校生活は小学校の半分ですが、心身ともに大きく成長する時期です。同時に大人へまた一步近づく大事な3年になります。悩んだり迷ったりすることが多くなつてくるでしょう。家族や先生がたに相談しなければならないことも予想されます。様々なことを選択しなければならなくなつ

## 上小阿仁中学校卒業式

3月7日、上小阿仁中学校の卒業証書授与式が行われ、男子5人、女子6人の卒業生が学び舎から巣立ちました。

式では、君が代、村民歌、校歌斉唱のあと、一人ひとりに卒業証書が手渡されました。

吉田校長は、「11名の卒業生の皆さん卒業おめでとうございます。今日で9年間の義務教育が終了しました。普段から思つたことを隠すことなく

話あえる仲間でしたが、今日をもつてバラバラになることはかなり切ないのではないか」と語りました。

修学旅行では、雨などまったく気にならない皆さんでした。秋田空港へ向かうバスの中から元気いっぱいの天気に恵まれ、すべて日程通りの

動きができました。その中で感心したのが電車で移動でした。皆さんは何回も乗り換えを行い、満員電車も経験しました。現実の東京を経験できた、なにものにも代えがたい3日間だつたと思います。

10月の学校祭はこれぞ3年生という立派な姿でした。1人で何役もこなし、無事に閉会行事を終えた時の充実感は格別だったのではないでしょうか。

私はこの2年間でいろんな場面で同じ思いを共有できることは本当に良かったと感じています。皆さんの活躍に心から拍手を送ります」と式辞を述べました。

卒業生全員で「明日の空へ」「旅立ちの日に」を合唱し、11人の卒業生は、それぞれの進路に向かつて新たな一歩を踏み出しました。

た時に、最後は自分の頭でしつかりと考え決定する勇気をもつてください。そうすることであさんの将来は確かなものになるとと思います。」と式辞を述べました。

また、在校生の1年生から5年生までの各学年からのビデオレターが上映され、卒業生を送る言葉を届けられました。卒業生は、新しい中学校生活への希望を胸に旅立ちました。

# 施政方針



3月定例会の開催にあたり 令和2年度の村政運営の基本姿勢について申し上げます。

政治は夢や希望、生きがいなどの地域づくりでもあります。

村に生まれた子供さんから若い世代、そしてお年寄りまでが、この村に「住み続けたい」「安心して暮らしたい」と思えるような村づくりを、時代にあつた新しい発想と知恵や工夫で推進できればと願っております。

また、村づくりは人づくりとも言われますが、「夢を応援する」村づくりを村議会や村民の皆さんのご理解とご協力のもとに推進してまいりたいと思つております。

私は昨年4月の選挙で 地域の商店の多くが廃業し、移動手段を持たない高齢者世帯の生活サポートが緊急の課題であるとし、買い物弱者が安心して暮らせる生活環境を作るための移動販売車の運行を公約として当選致しました。

これまで職員の視察研修や様々な取組などの事例を参考にした結果、令和2年度の事業として、買い物支援事業を提供してまいります。

身近な商店の減少や高齢化により日常生活に必要な食料品や日用雑貨等の買い物に不自由な老年寄り世帯に、安心な買い物の機会を提供してまいります。

地域の金融機関や郵便物の配達・配布機関として住民から親しまれてきた郵便局から提案いただいた、包括連携協提案では、役場の窓口業務「包括受託」もできるようになっており、地域住民の利便性を高めることから、村と日本郵便株式会社との包括連携に関する協定書を結ぶこととしております。

この連携協定案により、沖田面にあります上小阿仁郵便局では、村の公的証明書を交付することが可能となります。役場まで出向かなくても郵便局の窓口で各種の証明書類(住民票、戸籍謄抄本、印鑑登録証明書

公平性の観点から通学定期券の半額助成制度を廃止し、代わりに村の全高校生を対象とした「上小阿仁村高校生就学応援金」制度を設置し、一律に月1万円を支援することで子弟で世帯の負担軽減を行つてまいります。

また、村の高校生には、村を飛び出して米国などの見聞を広げる海外研修制度がありますが、令和元年度は募集人員に満たなくてやむなく中止となりました。

生徒数が減少し、今後も募集人員に満たない時には中学生を対象に加え補充するよう改め、村の若い世代の人材育成や活躍を支援する機会を

村内商店へ巡回バスを実証実験として、今年度実行してみたいと考えております。

また、需要があるか解りませんが、大型スーパーへの買物支援バスも同様に考えております。

さて、人口減少と少子高齢化が進行する上小阿仁村では、高齢者の運転免許証の返納や、体力の衰えによる長距離の歩行困難など、行動範囲

納税証明書などの発行が可能となり、交通手段のないお年寄りにとつて利便性が高まると思われます。

次に、村には高校がありませんので通学に公共交通を利用する高校生に通学定期の半額助成を行つております。

しかし、部活動などバスの時間的制約で、保護者の送迎や下宿など様々なケースが見受けられておりました。

また、村の高校生には、村を飛び出して米国などの見聞を広げる海外研修制度がありますが、令和元年度は募集人員に満たなくてやむなく中止となりました。

生徒数が減少し、今後も募集人員に満たない時には中学生を対象に加え補充するよう改め、村の若い世代の人材育成や活躍を支援する機会を

提供することいたします。

次に、現在住民福祉課で所管しております「かみこあに保育園」を、令和2年度から教育委員会所管に変更致します。

平成21年度4月に、「認定こども園」として認可を受けたことにより、保護者が働いている、いよいにかわらば受け入れ、就学前の子供に教育と保育を一体的に実施することが可能となり、現在に至っております。こうしたことを勘案し、広く教育的な方針など幼保教育の充実に努めるため、「かみこあに保育園」を教育委員会に所管を変更することに致しました。

さて、村に長年住んでおりますと

「観光地はここだ。これだ。」とい

う場所や行事が少ない村のように感じてしまいますが、アートイベント

「かみこあにプロジェクト」を行つてみて、これまで沢山の方が村を訪れ、様々な意見が寄せられております。「自分のことは良く解らないが他人のことは良く解る。」と言つことだと思います。

この村に住んでいる自分たちが、普段気が付かない風景や出来事を、

外からの目線でどんどん発信していくことで、PR効果が上がつてゆくのだと思われます。

マンネリ化したイベントではなく、付加価値を満載したイベントとなるよう新たな想いでプロジェクトを実施してまいります。

これまで作品が村に残らずイベント期間が過ぎると撤去されておりました

が、アート作品が残るイベントにできいか検討してまいります。

次に、天然秋田杉の教育林、大内沢は大変貴重な場所であり、村の観光施設として最も人を呼び込める場所ではないかと指摘されてきていました。

こうした意見要望を取り入れ、「歩こう、見つけよう、感じよう」など

が体験できるように、遊歩道の整備や案内板等の充実を今年度から計画的に行つてまいります。

また、広報用のビデオ作成、写真コンテスト、アートイベントとのコラボによる森の音楽祭、そして、現

場から情報発信のしくみについて検討してまいります。

自然豊かな樹齢250年を超える

天然秋田杉が700本も残る群生地は、ここ大内沢でしか見ることがで

きない貴重な場所だと思われます。

大切な資源であるとともに村の宝ではあります。

新しい価値を見つけ出す可能性と自然保護との調和を図りながら、大内沢の観光化を進めてまいります。

そして、今あるものを次の世代に残していく使命がありますので大切に守つていこうと思います。

次に、昨年11月30日に、国土交通省の依頼により「NPO法人上小阿仁村移送サービス協会」が、有料で電動カートの自動運転車両の運行を、

道の駅を発着所として開始されています。

こうした意見要望を取り入れ、「歩

こう、見つけよう、感じよう」などを紹介されましたので村内外の関心も大きく、村民の方も周知のことと思

いますが、利用者数は伸びてはいるようになります。

今後利用者の利便性を良くするた

めに、新たな路線の延長や車両の小型化、運行車両の増加、牽引車両などが検討され、実行されることによって更に利便性が高まるのではないかと思われます。

高齢者の足として利活用されるよ

うな声をお寄せいただきたいと思っております。

終わりに、今この時から村に変化

を起こしていくためには、住民一人一人が気づきの思いを発信することが必要であり、新しいことに挑戦することは失敗もあるかもしれません

がそれを乗り越え、「住み続けたい」「安心して暮らしたい」という思い

を多くの村民と共有し、夢を応援する村づくりを磨き上げ、令和2年度事業を推進してまいりますので、村民各位のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

自動運転車が注目され、新聞等で

紹介されましたので村内外の関心も大きく、村民の方も周知のことと思

いますが、利用者数は伸びてはいるようになります。

今後利用者の利便性を良くするた

# 3月定例会

## 行政報告要旨

### 令和元年度補正予算について

今定例会提出の一般会計補正予算は、各科目全般にわたる精算見込みによる減額、基金積立金などの追加により681万5千円を減額する補正で、補正後の総額は24億5815万円となりま

### 北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合について

2月12日、北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合定例議会が開催され、令和2年度予算等について審議しております。

令和2年度予算については、総額8707万1千円で、令和元年度に比較して45万5千円の減額となつております。村の負担金については650万2千円で、18万7千円の増額となつております。

長下処分場の粗大ごみの受け入れについて、12月末現在187トンで、内訳は自己搬入粗大ごみ137トン、家屋解体材40トン、市村収集粗大ごみ4トン、クリーンアップごみ等6トンとなつており、自己搬入粗大ごみ、家屋解体材の搬入量の減により、前年同期と比較して全体で17トンの減少となつております。環境への影響については、定期的な分析調査の結果、管理基準値をクリアしております。適正で安定した状態にあり

ます。

火葬場につきましては、12月末現在の利用状況は、人体222件、動物等117件の、合わせて339件となり、前年同期と比較して人体が16件の増、動物等で増減なしとなっております。

### 北秋田市周辺衛生施設組合について

2月10日、北秋田市周辺衛生施設組合定例議会が開催され、令和元年度補正予算等について審議しております。

令和元年度補正予算につきましては、職員の給与等の補正及び、解散に伴い案内板を撤去するための工事請負費等を補正したものであります。

令和元年度上期の搬入量は1万4072・4キロリットルで、前年度と比較して1・8%減となり、1日平均処理量は76・9キロリットルとなつております。その内訳は、屎尿5724キロリットル、農業集落排水汚泥を含む浄化槽汚泥8348・4キロリットルとなつております。

環境保全につきましては、放流水質の定期検査の分析結果で管理基準を下回っております。組合の解散につきましては、昨年開催された構成市町村の9月定例議会において、規約の一部変更議案、解散議案、財産処分議案がそれぞれ可決され、地方自治法に定める関係地方公共団体で協議のうえ、10月9日付で秋田県知事に解散の届け出がされております。これにより、令和2年3月31日をもつて組合が解散することとなり、組合が設置・運営する米代流域衛生センタ

ーも廃止となります。

### 4月以降のし尿処理について

し尿及び浄化槽汚泥の処理を行つている北秋田市周辺衛生施設組合が、令和2年3月31日で解散することに伴い、上小阿仁村では、北秋田市の新しい施設での処理を委託することとしております。

### 健康づくり事業について

平成31年3月に「上小阿仁村自殺策計画」を策定し、自殺対策に関する知識の普及、集落と連携した取組を強化すべく、7月31日に開催した秋田大学医学部付属病院の藤原医師によるうつ病をテーマにした講演会の内容をもとに、各集落健康教室において講話・健康相談を行つております。

併せて、集落単位の対策を強化するため、秋田大学の佐々木准教授の協力をいただき、心の健康づくりをテーマに集落への介入を行つております。また、食生活改善推進協議会の協力のもと、減塩や骨粗鬆症予防のためのレシピを用いて集落伝達講習会を開催しております。

今年度は、推進員がいない集落への講習会を充実させております。

### 介護予防事業について

平成29年度から実施している「脳いきいき講座」「集落サロン事業」も3年目を迎え、「脳いきいき講座」は、年間6回開催しており平均参加者は20名となつております。講座では、高齢者の運動免許の更新時に行う講習予備検査にも挑戦し、脳

トレやデュアルタスクなどを行い、頭と身体を動かす講座を実施しております。

地域住民の繋がり・支え合いの場を目指した「集落サロン事業」は今年度新たに3集落で開設され、村内のサロン実施集落は10集落となりました。

集落サロンは、地域の住民が気軽に集まれる場所として開かれるもので、無理せず楽しみながら参加できる内容の体操やゲーム、昼食交流などが行われています。回数は月1回程度としていますが、健康教室や地域のイベント等に合わせて実施するなど、多くの方が参加しやすいよう、各集落とも工夫しながら実施されております。

### 米の生産目安について

本村においては、令和2年1月30日に村農業再生協議会臨時総会が開催され「生産の目安」について、昨年と比較して数量で3トンの増、面積換算で1・09ヘクタールの増加で承認されました。

また、令和元年産米につきましては目標換算面積270・99ヘクタールに対して、実際の作付け面積は250・34ヘクタールで20・64ヘクタール下回つており、「生産の目安」を達成することができます。

### 農地の集積等

農地中間管理事業等を活用した本村の今年度における担い手への集積状況につきましては、令和2年1月末で796アールの利用権設定となつております。

集積に伴う機構集積協力金について

は、交付基準の条件が厳しくなつたり  
交付単価が下がつたりしておりますが、  
活用を図りながら更なる集積を促進す  
るため、周知に努めてまいります。

### 農業委員会関係

現農業委員会委員の任期が本年7月  
19日までとなつております。

農業委員会等に関する法律の改正で、  
農業委員の選任は委員になろうとする  
者を募集し、村長が議会の同意を得て  
任命することになつて2回目の選任と  
なります。

また、同様に地区の農地利用最適化  
を図る農地利用最適化推進委員につき  
ましても農業委員と同じ任期となつて  
おりますので改選に向けて準備を進め  
てまいります。

### 野外生産試作センター関係

野外生産試作センターにおきまして  
は、農家へ安価で良質な苗の供給や特  
産作物の試験栽培も継続的に行なが  
ら、取り組み農家への巡回や指導を行  
つております。

### 森林環境譲与税について

森林環境譲与税については、森林の  
整備に関する施策や森林の整備を担う  
べき人材の育成や確保、森林の有する  
公益的機能に関する普及啓発、木材利  
用の促進、その他の森林の整備の促進  
に関する施策を目的として今年度から

交付されております。

交付初年度から3年間は譲与税特別  
会計からの借入金で対応するため総額  
200億円、その後、段階的に引き上  
げられて令和15年から全額の600億  
円が交付される予定であります。

これにより、本村の来年度の譲与税  
額は今年の譲与額の約2・1倍、156  
34千円が交付される見込みとなつて  
おります。

### プレミアム付き商品券事業について

消費税・地方消費税率の10%引き上  
げによる低所得者や子育て世帯の消費  
に与える影響を緩和するとともに、地  
域における消費の喚起、下支えすること  
を目的として国が全額補助するプレ  
ミアム付商品券の販売を行つております。  
1月末日現在、村では低所得者対象  
者751人中、引き換えの申請を行つ  
た方が176人の23・4%、子育て世帯  
の対象23人と合わせて199人、26・5  
%の方に発行しておりますが依然とし  
て低調な利用となつております。

### 山村広場の整備について

天然秋田スギが間近で見られる貴重  
な上大内沢山村広場の更なる誘客を図  
るために、もつと身近に見学ができるよ  
う遊歩道等の整備を行つてまいります。  
かみこあにプロジェクトの開催など、  
上小阿仁村ファントコンテストについて

アートのイメージがある村において、  
フォトコンテストを実施し、優秀作品  
についてコブ杉のパンフレット等に活  
用いたします。

### 総務・学校教育関係について

令和2年度の上小阿仁小学校児童数  
は、8人が卒業し、8人が入学します  
ので、今年度と同数の51人となる予定  
です。

また、上小阿仁中学校の生徒数は11  
人の卒業に対し7人が入学しますので、  
今年度より4人減の33人となる予定で  
す。小学校卒業生のうち、1人は村外  
の中学校へ入学する予定です。

従つて、令和2年度の上小阿仁小  
中学校及び義務教育学校学級編制基準  
により小学校3・4年生が複式学級と  
4人減の84人となる予定です。

なお、学級数につきましては、「小・  
中学校児童生徒数は、令和元年度より  
4人減の84人となる予定です。

従つて、令和2年度の上小阿仁小  
中学校及び義務教育学校学級編制基準  
により小学校3・4年生が複式学級と  
4人減の84人となる予定です。

従つて、令和2年度の上小阿仁小  
中学校及び義務教育学校学級編制基準  
により小学校3・4年生が複式学級と  
4人減の84人となる予定です。

### こあに発表会について

11月30日に上小阿仁小中学校こあに  
発表会が行なわれました。

小学生は村をいろいろな角度から研  
究した学習内容を発表し、中学生は宿  
泊体験や職場体験について発表しま  
した。その後、小学校3～6年生の縦割り  
グループと、中学校1～3年生の縦割り  
グループが、「村のためにできるこ  
と」をテーマに協議を行い、内容の報

告も行いました。

### かみこあに太鼓フェス2019について

12月1日に公民館自主事業として、  
かみこあに太鼓フェス2019が開催  
されました。

横手市、秋田市、能代市、北秋田市、  
上小阿仁村から9つの太鼓グループが  
一堂に会して、それぞれの特色を出し  
た迫力のある演奏を披露しました。

### ミニかまくらづくりについて

2月1日に恒例行事であるミニかま  
くらづくりが60人ほどの参加で開催さ  
れました。

雪不足でかまくらは作ることができ  
ませんでしたが、ボランティアの皆さ  
んに作り方のレクチャーをしていただき  
ました。

### 国保診療所関係

昨年4月から今年1月までの診療状  
況は、医科外来が診療日数190日、  
患者数5596人、1日平均患者数は  
30人となつており、昨年と比較して1  
日平均では同数となつております。

歯科は診療日数191日、患者数8  
48人、1日平均患者数は4人となつ  
ております。

医療外来のうち毎週月曜日診療の泌  
尿器科につきましては、診療日数34日、  
患者数780人、1日平均患者数は23  
人となつております。